

仙台市北部発達相談支援センター

**医療的ケアを必要とする重症心身障害児への支援のために
ア－チル特別講座**

12月12日（火）・15日（金）に仙台北部発達相談支援センターの喀痰吸引研修がスキルスラボで開催されました。講師に仙台市若林障害者福祉センター齋藤看護師をお迎えし、主に実技を中心とした内容で実施されました。

喀痰吸引とは、自力で痰の喀出ができない場合に窒息や呼吸困難を起こしてしまう危険がある為、吸引によって痰の排出を助ける行為のことを言います。講師より、吸引をしなくてもできる排痰方法の説明があり、その一つとして、対象者に胸の動きを良くする体位をとらせる方法が紹介されました。参加者の皆さんには、真直ぐに椅子に座った時と、身体を捻じった状態で座った時では呼吸のし辛さにどれ程の違いが現れるか体感してもらいました。また、1回の吸引時間は10～15秒程度とされており、参加者の皆さんは実際に10秒間息を止める体験を通じて、10秒という時間は自身が思っているよりも長い時間だったと感じたようでした。

実技では講師より、吸引シミュレータを用いた喀痰吸引の実演と、滅菌されているものの取扱方法や吸引手順についての説明がありました。その後、参加者は清潔なものの取り扱い方法に注意しながら、口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内の吸引操作を練習しました。初めのうちは一つ一つの手順を確認しながらの実施で、取り扱いに慣れないカテーテルや吸引器に苦戦していましたが、繰り返し練習を行うことで理解も深まったようでした。短い時間ではありましたが、自分達のペースで学習することができ、大変充実した研修となりました。

